

平成 28 年 2 月 定 例

教 育 委 員 会 会 議 録

飯館村教育委員会

平成28年2月 定例飯館村教育委員会会議録

- 1 招集日時 平成28年2月25日(木) 午後3時00分
- 2 招集場所 飯館村役場飯野出張所 3階会議室
- 3 出席委員 教育委員(委員長職務代理者) 菅野 クニ
教育委員 高倉 文子
教育委員(教育長) 八巻 義徳
- 4 欠席委員 教育委員長 佐藤 眞弘
- 5 説明のため出席した者 教育課長 村山 宏行
- 6 開 会 午後3時00分

7 委員長挨拶

委員長職務代理者 教育委員長がインフルエンザで休みですので、只今より、平成28年2月の定例飯館村教育委員会を始めます。初めに、委員長の挨拶、職務代理者の菅野がご挨拶申し上げます。間もなく、27年度も残すところ1カ月となりました。学校人事も固まりつつあるのかなと思いますが、本当に先生方に頑張ってやっていただいた年、と思っています。そういう中で、どういう人事かわかりませんが、飯館村にとって必要な人材が配置されることを願っております。今、学校のインフルエンザがはやり始めてはいますが、大きな事故もなく、皆様のご努力に感謝します。

8 会期の決定及び書記の指名について

委員長職務代理者 続きまして、日程第2『会期の決定及び書記の指名』ですけれども、会期を平成28年2月25日、1日間とし、書記に教育課長、村山さんをお願いしたいと思いますが、いかがですか。

全 員 お願いします。

9 平成27年12月定例教育委員会会議録の承認について

委員長職務代理者 続きまして、日程第3『平成28年1月定例教育委員会会議録の承認について』を議題とします。ご意見ありますか。

日程第3、平成28年1月定例教育委員会会議録を承認します。

10 教育長提案理由説明

委員長職務代理者 日程第4 教育長提案理由の説明をお願いいたします。

教育長 お陰様で、スクールバスの通学で、大きな事故も感染症もなく、大変ありがたく思っております。人事の関係、校長先生が一生懸命学校運営できる体制になれ

ればと思っています。議案審議、よろしくお願いいたします。

11 議案第4号 村立小学校の平成28年度運営体制について

委員長職務代理者 続きまして、日程第5 議案第4号『村立小学校の平成28年度運営体制について』。これをお願いいたします。

教育長 今までは、学校人事は、内示が3月上旬に出て、そして臨時の定例教育委員会で承認しました。今年は、議員の一部が小学校の校長兼務体制に反対し、PTAが兼務体制の維持の要望し、教育に対する議会の介入が非常に心配な事態になっています。そこで、各教育委員のお話をいただき、確認しながら、共有していく必要があります。今までの経過をもう一度お話しします。

平成25年、3つの小学校にそれぞれ校長、すなわち3人体制でいいのかというのが検討の始まりです。平成25年、宮城県の大川小学校の事故検証委員会がありました。あの事故で、子供たちが70何名、先生方が10何名亡くなりました。その事故検証が、平成25年、精力的にされました。私は、その4月に着任しました。本当に痛ましく、あってはならない事故で、検討委員会の検証結果を知ることができました。その当時の学校体制を知って、私どもの学校を心配しました。

着任した5月、3人の校長先生、3人の教頭先生、それから全ての教員、事務職員、用務員と個人面談しました。前教育長のもとではそうした面談はありませんでしたが、「校長は自分の学校の先生にしか指示命令を出せない、先生は自分の児童しか指導評価ができない」。緊急時、どの校長が判断するのか、先生方も心配していました。その後、年が明けて大川小学校の事故検証報告が出て、決められない学校組織は子供たちの命と学びを守れないと感じました。

その3月、内示の段階で、議会が止まりました。佐藤長平議員から、「校長を1人にするって前の教育長から聞いたぞ。どうなっているんだ」と大きな声を上げて、教育長の問責決議が出ました。

人事の内示が出て、3月下旬の臨時教育委員会で、校長1人体制を承認したのが25年度の経緯です。平成26年度も継続して理解を求めてきましたが、ご理解いただけないままに推移しました。こうした教育内容、授業内容に直接影響する施策に具体的に理由も示さないで、議会が介入することは正しくない、と思っています。

27年度になって、議会に対して、4月に3つの小学校のPTA会長から現在の兼務1人体制の維持、という要望が出ました。7月、議会は教育委員、教員から意見を聴取しました。そこでも、教育委員会からの意見は分かれることなく、校長兼務1人体制の維持をそれぞれ主張しました。

その後も、佐藤長平議員から「3人の校長体制に戻せ」との声があり、12月、危機感を持ったPTA役員会が校長1人兼務体制の維持を議会に要請する場が設定されました。この懇談会には、議員10人中9人が出席して、1人欠席。それが「1人体制許さない」という佐藤長平議員でした。

その後、今年、1月、PTA会長から村長、教育長宛てに兼務1人体制の維持の要望がありました。更に、1月に学校運営協議会でも兼務1人体制の維持を確認されました。さらに、27年度の行政評価委員会でも兼務1人体制について高い

評価がありました。さらに行政区長会でも現在の学校運営を支持する声をいただきました。今年に入って、議会全員協議会でも。この件について理解を得る努力をしています。多くの議員からは、問責決議をしたときと状況が変わってきたと一定の理解を得たと認識しています。

ただ、佐藤八郎議員、渡邊 計議員は、「一度、反対と言っているからな」という話でした。佐藤長平議員は、「そんなのおかしいだろう。こんなことあるか。村長、あんたが（教育長を）連れてきたんだ。任命責任、あっぺ」と大きい声を出していました。私には、「やめろ」と興奮して言っていました。

私は、今の教育の質を守る観点から今の体制を続けるべきと思っています。それから人事案件は県教育委員会の仕事です。

私どもは、こうした合議、確認をいただきながら進めていきたいということで、今回、提案申し上げます。平成28年度の飯館村立草野、飯樋、白石小学校の運営体制は、現行の3校1校長の維持ということで、PTA会長たちの要望と一緒になっています。以上です。

委員長代理者 この件について、何か質問、意見、ありますか。

高倉委員 3月の議会のとき、これは決定するんですか。

教育長 どれですか。

高倉委員 校長1人というのを。

教育長 校長1人というのは、福島県教育委員会が人事権を持っています。私どもには、こういう人事ですと示されます。その承認は、我々、教育委員会です。議会は、基本的に人事と授業内容については介入しません。飯館村の議会は特殊です。

高倉委員 議会が3校に3校長を決定したと前あったじゃないですか。議会で決議されたって。

教育長 議会として、ですね。

高倉委員 それは全く無視でいい……

教育長 議会の考えはそうです、ということです。

高倉委員 こっち側は、こっち側でと。

教育長 これは基本的に教育委員会の専任事項です。教育委員会は教員人事と授業内容を決めます。結果責任を持つ部署が決めるということです。

委員長代理者 今まで、この3校1校長については、教育委員会の中では話し合われてきました。ただ、こうしてきちんとしたものにしていなかったんですね。

教育長 そう。校長人事は教育委員会で合議いただいています。校長兼務体制だけを取り出した合議はなかったものですから。

委員長代理者 今までの議事録には出ていても、それを議題としてきちんと入れ残して置くことが、議会に対しての教育委員会の態度ですね。我々はこういう姿勢でやりたいし、これからもそうやると。

教育長 28年度も、そうしたいと。

委員長代理者 28年度の教育委員会の意思を示すということですね。

教育長 そういうことです。

委員長代理者 わかりました。教育委員会の意思としてきちんと28年度もこれを維持するという意思表示として受けとめて、承認してよろしいでしょうか。

全 員 はい。

委員長代理 ありがとうございます。恐らく議会でもいろいろとあるでしょうね。いずれにせよ教育委員会としてはきちんと話し合ってきたことであるということです。何よりも保護者が一番支持しているわけですからね。

12 議案第5号 平成28年度奨学金貸付決定について

委員長代理 続きまして、日程第6、議案第5号『平成28年度奨学金貸付決定について』。

教育課長 お手元の資料、横のA4のものです。1件、村の奨学金の申請がございました。

認定要件を満たしていますので、確認をお願いします。（資料に基づき説明）

委員長代理 この件について、ご意見、ご質問、ありますか。

教育課長 なかなか貸し付けを受けたいという方が少ないものですから。

委員長代理 あと2年くらいそうでしょうかね。

教育課長 貸付金額は、240万です。

委員長代理 今、沼田高校に通学ということは、群馬県に避難しているということですか。

教育課長 はい、親子、共々、そうです。

委員長代理 それでは、基準、資格要件を満たしていますので、貸付すべきと決定します。

13 諸報告について

委員長代理 続いて、日程第7 『諸報告について』。

教育課長 主要な行事日程等について報告します。（主要な行事日程等について説明）

続きまして、学校等再開検討委員会の答申です。別の資料に載せています。最終的に、このような形で村長に提出されました。（資料に基づいて説明）

それから中学生の進路状況、お手元の資料、4ページからになります。（資料に基づいて説明）

教育長 受験者の一覧を見ますと、福島、福島東、橘高校の志願者がいます。福島南、福島西もまとまった数があります。進路先のV字回復となっています。去年は厳しい環境でした。もう一つ、相馬農業高校飯館校、最終的にⅢ期まで、どのくらいの人数になるか、関心を持っていく必要があります。

委員長代理 今、1月の行事日程、学校等再開検討委員会の答申、中学校の進路状況について報告がありました。ご質問、ご意見ありますか。中学校の進路状況を見ると、本当にV字回復、きちんと子供たちの希望と将来を聞いていると見えますね。

教育長 そう思います。

委員長代理 質問として、飯館校は飯館中学校から、結局、Ⅰ期で2人、Ⅱ期で1人です。そうすると、ほとんどがもう村外の子たちがⅡ期、Ⅲ期選抜で、Ⅱ期でも村外の子。Ⅲ期で、最終的に行くのかなど。飯館に戻る時期の話はどんなふうに来ていますか。飯館での学校再開というのは、何か情報としては。

教育課長 校長から、入学式の際、卒業前に、飯館に戻る可能性があるという話はしているということです。ただ、本来、27年度中に飯館校校舎の見学会を予定していたはずですが、実施していません。

教育長 まだ帰村云々ということがなかったので、バスから降りていないと思います。

委員長代理 バスから、子供たちは。教師は見に来ていますか。

教育長 教頭先生は、当然。必要な先生は見ていると思います。

委員長代理者 小高工業、商業高校は、今年、小高に戻るのか。統合してから行くんですか。

教育長 スケジュール出ていますか。

委員長代理者 統合は来年ですよ。

教育長 県教育委員会の判断、ありましたか。

委員長代理者 統合は来年ですよ。小高商業、小高工業の募集は今年度が最後ですよ。だから来年度は統合した形での募集ですよ。ニュース、新聞でも出ていたと思いました。その時期、学校は向こうで、サテライト、仮設はなくなるんでしょうが。どの時点で、飯館校が飯館村で再開する、と県教育委員会から来るのか、その辺はどうですか。

教育長 飯館校の場合も同じ県立ですから、福島県教育委員会がいつ再開すると動き出すのかなと思っていました。答える人、福島県教育委員会、いますか。

委員長代理者 誰も答えてはくれないと思います。その辺、受験生が結局Ⅲ期に応募するか、考えるでしょう。村の唯一の高校としては、あり方を考えるべきだと思います。

実は、長野県立白馬高校という白馬村にある高校です。ここも村外からの学生が結構います。今、廃校の危機だそうです。ふるさと納税で、白馬高校を守ろうと全国の動きになっています。何か飯館校が生き残る策は、県の教育委員会に任せておくと廃校になるのが目に見えます。その前に休止、募集停止が目に見えています。村としては考えておかなくてもいいのかな、と。これは話題提供です。

教育長 白馬とか北海道の音威子府、村の学校として残しています。その時、自主エンジンは必要です。残すには、県、設置者にお任せではなくて、その地域がコミュニティの中に入れる、と、飯館が自主的エンジンとして動くべきだと思います。

委員長代理者 以前、飯館校もやりとりがありました。例えば、分校の先生が一生懸命かかわったり、生徒というよりは村民が飯館校にかかわったりという動きは、かつてはあったような。

教育課長 通帳がありますね。

教育長 飯館校を応援する通帳。

委員長代理者 飯館校を残す、何かありましたね。

教育課長 はい、ありました。

委員長代理者 何とか村民の気持ちの中に飯館校を残したいと動いた時期があったと思います。今は、飯館校の前に、中学校、小学校をどうする、というのが先で、それを考えるところではないとは思いますが。

教育長 外は関心を持っています。例えばホースセラピー、馬を飼って、馬を育てて、馬と人が交わる。全寮制で、食糧生産、調理までするとか。そのとき、村民の村民に限定する村民の学校に拘ると、人がスーと離れていきます、その狭い社会では、交流人口、対流人口が増えない気がします。私もいくつか提案を受けていますが、それをつながっていける飯館村の30代、四、五人が欲しいですね。

委員長代理者 ホースセラピーとか食の部分、農業科だったらやりやすかった。突然普通科になった。村民も学校の先生も知らぬ間に、普通科になった。だから、今回、飯館に再開にするか、そのまま自然消滅になるか、それも突然の決定で来るのか気になります。飯館校をもう一回やって行こう、という動きができるかどうか。

教育長 総合学科もあると思います。

委員長 総合学科ですからね。飯館校の動きは、私はラオスに行って強く感じたんです。飯館の人たちが高校に上げたいけど上げられないという時代、飯館校をつくるという動きがあってできた経過を見ると、このまま自滅するのも何か。

教育長 飯館校ができたのはその経過だと思います。関係者が考えるのは出口かと。どんな出口、というのを考えています。

委員長 と思いました。報告の中で何かないですか。

高倉委員 小学校のスキー教室のバスの運行が、うまくできなかったというのは耳に入っていますか。乗り遅れた子供がいる。

教育課長 1人乗り遅れて、その後、車庫長が拾って合流しました。

高倉委員 4人ほどです。

教育課長 時間が若干違っていたので。小学校が全員あたら高原スキー場に行く。当然幼稚園と中学生があるわけです。そこで、回る車と回らない車があって、その調整が誤解を招いたこと、時間的に遅れたこともあったかと思います。

委員長 子供たちと先生が。

教育課長 子供たちだけ4人。

教育長 そうです。幼稚園の中で待機して、車庫長が拾って、合流しました。

教育課長 開校式にも間に合ったので、事業的には大丈夫でした。

委員長 どこかで連絡ミスがあったんでしょう。本当に幼稚園だからよかったものという感じですかね。

教育課長 多分時間的な部分です。

高倉委員 バスが3台ぐらい並んで来て、何も言わずにそのまま行った、と聞いたんです。みんな行く場所一緒じゃないですか。だったら乗せればいいのに、乗せもしないでそのまま。

教育長 素通りした、1回は止まったの。

高倉委員 止まったんですが、間隔を空けず、繋がって出たので、子どもたちは、どれに乗っていいか、わからなかったと。

教育長 誰か親御さんはいたの。

高倉委員 送ってきた親と、保護者と子供たちと。

教育長 「どうしたの、乗せないの」、と親が声出さなかった、出せなかった。

高倉委員 1回乗ったらしいです。でも、乗りましたが、学校に何コースに乗ると提出してあるので。そのバスでないから、兄弟が降ろしたみたいです。このバスでないとなの子を降ろしたらしいです。だから、どのコースに、どこから、何人乗る、と学校は情報があるはずなので、それをバスのドライバーがわかっているれば、拾い忘れはない訳です。子供たちは不安がっていたので。1回滑り損ねたとお兄ちゃんたちが言っていました。遅れて行ったので、みんなよりも遅く滑るようになると。心配、不安があったと聞いたので、次回、うまくやってほしい。

教育課長 名簿がバスに行っていないのか。

委員長 連絡、それを注意していただきたい、と思います。

教育長 先生方も教育委員会のスタッフからも非常に好評でした。こうした課題は課題として解決したいと思いました。

委員長職務代理者 2月20日の草野行政区の交流会で、教育委員会の説明は何ですか。

教育長 私が学校等再開検討委員会の答申も含めて、15分、話してください、と言われて行きました。

委員長職務代理者 先日の学校運営協議会、出られませんでした。次回はいつですか。

教育課長 学校運営協議会は2月で終わりです。全体のご苦労会は3月16日の夜。学校運営協議会は2年の任期満了。学校等再開検討委員会は答申まで終わり、重複する方が結構多いので、一緒にとなりました。

14 その他

委員長職務代理者 日程第8で次回教育委員会の開催日時と、先ほどの諸報告に戻って、3月28日が教職員の合同離任式、これに教育委員が参加する必要はありますか。

教育課長 例年お願いしております。28日の離任式は午後1時半からになります。また次回の定例教育委員会は先生方の内示が24日ですので、3月24日木曜日11時からお願いします。4月になると、合同の着任式もあります。

15 閉会

委員長職務代理者 日程第8が終わりました。これで平成28年2月の定例教育委員会を終わります。

午後4時05分 閉会

上記のとおり相違ありません。

教育委員（委員長職務代理者）

菅野 ㍻二

教育委員

尚倉 文子

教育委員（教育長）

八巻 義徳

書記：教育課長 村山 宏行